

## 寒河江市振興審議会委員の意見

| No | 1 将来都市像を見直すことについて  | 2 将来都市像の検討にかかるキーワードについて  | 3 その他（審議会の進め方や検討にあたって必要な資料等お気づきの点を記入ください）  |
|----|--|--|--|
| 1  | 大いに賛成である。  | 地方分権、地域主権時代である<br>二元代表制の役割と市民参加 } 市政基本条例<br>議会基本条例<br><br>現代人の心を癒やす効果は、「川、緑、自然石、田園、風景」の合体と言われている。(水とせせらぎのまち)   | 振興計画やその他の全ての計画、方針等においても、最後の1条に首長が変わった場合、見直し変更するものとするの条文を入れるべきと思う。  |
| 2  | 寒河江が住み良い街として噂にのぼるような政策、方向性を強弱をつけて実現していくべき。歴史も文化もそこに暮らす人々には二番目に大事なことです。   | 能力ある若者が寒河江で生活したいと思う街づくり、将来市政や県政に参加してくれる人材が育つ土壌をつくること。<br>農業や林業で生活できるレベルまで質の高い専門職として育ててほしい。   |  |
| 3  | 市民アンケートの結果、今後寒河江市が目指す将来都市像の項目の中で、「今後は現在の状況に合わせた新たな将来都市像で市政を推進すべき」が49.1%ということは、臨機応変に対応する姿を市民は望んでいる訳であり、そこに耳を傾けなければならないと思います。どう対応し、どう変えていくかが問題。  | 「高齢者が安心して暮らせるまち」が42%となっていることから、これをメインにしていければいいと思います。少子高齢化は以前から分かっていることですが、さしあたって高齢者が生涯現役でいられる予防対策が必要と思います。各自の心構え、また皆で予防するということを提起しながら進める方向を、と思います。   | 少しのテーマを出し合って、そのグループを2・3分割して話し合い、そこからひとつのテーマを皆で煮詰められる方向にするか、ひとつのテーマを出して少し問題を提起する形にもう一回小グループで話し合ってしまうふうにしっくりしたものに進められたらと思います。  |
| 4  | 国政・県政・市政ともに首長の交代があった。市民・住民の考え方も変革を求めているのではないが。<br>市民アンケートによる進むべき方向が「新たな市政を推進すべき」との思いが50%に限りなく近い市民の意思を尊重すべき、と思います。  | 暮らしやすさの追求、福祉の充実した高齢者が安心して暮らせるまち  |  |
| 5  | 今回の審議会は第5次振興計画の中間年として、変化する時代に対応しての見直しという趣旨であり、全く新しい都市像を掲げることにはいささか抵抗がある。<br>他のキャッチフレーズはどの町にも当てはまるもので、将来を望んだ斬新性に欠ける。<br>その点「... 気品ただよ...」は寒河江市が他に抜きんでてグランドワークやボランティア活動に活発であり、成熟した社会が目指す都市像としては捨てがたいものがある。 | さくらんぼの里は言い古された言葉で、再アピールには二番煎じのきらい無しとしなない。<br>ただ、アンケートの結果を尊重すると、基本構想ではなく基本計画の中に取り込んではどうか。   | 今回の見直しは、中間年ということと共に、市の舵取り役であるリーダーが変わったことも考慮し、市長の公約も理解する必要があるのではないかと。<br>市長が云われている多くの市民の声に耳を傾けることも大事なことだが、市長の考えや構想もある段階で開陳説明をしていただく、或いは折にふれ事務局会議の様子を紹介して貰うというのは如何ですか。又は会長、部会長会議を設定して意思疎通を図ることも大切かと思ひます。   |
| 6  | 時代、状況が変わっているので、現在に合った目標で、しかもみんなが分かりやすい言葉また表現で見直すことと思う。<br>現在の将来都市像の表現は、漠然としすぎの感がある。また、他市町に比べ、難し過ぎる表現である。   | 若い人が定住する、魅力ある、高齢者が安心して暮らせる美しいまち。<br>※若者と高齢者の共生できるまち。誰でもわかりやすい、しかもインパクトのある表現で表した方がよい。   | あまり難しいことを長々と審議しても結論が出ず時間ばかりかかるので、なるべく要点を説明しながら、簡潔に進めた方がよいと思う。  |
| 7  | 現在の、「歴史と文化の織りなす気品ただよ美しい都市寒河江」を否定するものではないが、地方の厳しい経済・社会情勢のなかで、活力を生み出し、持続可能な社会を形成していく、という印象に欠ける。<br>また、「より豊かに」「より元気に」といったキャッチフレーズともあまりマッチしていないように感じられる。<br>振興計画の見直しは、将来都市像を見直す良い契機であると考えます。                 | 将来都市像は、観光PRのためのキャッチフレーズではなく、住民や将来の住民となる子どもたちに示すメッセージであると考えます。(寒河江市をPRすることは、将来都市像を実現するための手段であり、目的でない。)<br>「どのようなまちにしていきたいか」、または、「どのようなまちに住みたいか」が端的に表されるキーワードが用いられるべきだと考えます。   | -  |
| 8  | アンケート調査によると、49.1%の方が見直すべきと回答が得られたようであるが、5年前から何が大きく変わったのかを分析し、是非を問うべきではないかと思ひます。<br>『歴史と文化の織りなす気品ただよ美しい都市寒河江』を将来都市像として市政を推進すべきが、27.6%も占め、市民にも浸透してきているので、是非継続すべきかと思ひます。                                    | 確かに、経済不況や財政の悪化は進んできているが、本市においても高速道路の試験無料化実験を取ってみても、少なからず影響があります。今後は、いかに市民の所得・雇用・税収に貢献している工業団地や莫大な投資をした駅前商業地を活性化することを課題とするべきと思ひれます。<br>交通体系も将来は大きく変化することも創造され、特に物流(人・もの流れ)が重要視され、本市としてもどのような対応をするのか将来都市像をしっかりと見極めるべきと思ひれます。 | 第5次振興計画は10年後の姿を描いたわけで、中間年では今後の残り5年なのか或いは、ここから10年後が目標なのかを、まず決めるべきと思ひれます。<br>あまりに「アンケート重視ありき」である、振興審議会の意義が薄くなるのではないのでしょうか。そのへんの審議の仕方も十分検討ください。   |
| 9  | 現在いる市民が目指すべき市政を見直ししていくのはもちろんですが、これから市民になる予備軍や他の市町村民からも魅力的に映る寒河江市も十分に意識していかなければならないと思ひます。   | キーワードから将来都市像を導き出すことは良いと思ひますが、全て100点を目指すような方向性は「絵に描いた餅」のような将来都市像になり実現不可能に近くなると思ひます。<br>ターゲットを絞って、実現性をアピールした方が良いのでは。   | 市民アンケートで50%の回答があったのは大変良かったと思ひます。しかしながら、内容が大変濃かったもので、若い世代の回答がどのくらいあったか気になります。アンケートに熱心な年配の意見だけが反映されなければいいと思ひます。  |
| 10 | 見直すことに賛成です。<br>第5次振興計画を見直すならば、将来都市像ももう一度検討することが望ましいと思ひます。市民アンケートの結果を見ると、回収率の高い60～70代以上の方々の意見として、「高齢者が安心して暮らせるまち」が42%を占めているなど、年齢別の回収率が低い若い人たちの意見が反映されるように話し合い検討するべきかと思ひます。                                | 高齢の方から小さい子どもたち全市民が該当する将来都市像を考えなければいけないと思ひます。「さくらんぼの里」という言葉は、インパクトがあるが、豊かな農産物のイメージもあるので、広い意味で「自然と共生」や「愛されるまち」という言葉を使うのかを検討できればと思ひます。市民アンケートの結果を見ると、「さくらんぼの里」を将来都市像に入れるかどうかのポイントになると思ひます。                                    |  |
| 11 | アンケート結果に準じます。  | アンケートの最後に一言(つぶやき)の欄を設けて自分が日頃思っていること(市政に関係しなくとも良い)を書いてもらう欄があればよかったです。要するにツイッターです。それにより市民の皆様の本音などがわかり、プラスしてキーワードを考えるうえで材料のヒントのひとつになった考えます。   | このたびのアンケートの回収率に関してですが、半数の方の返信があったということに寒河江市民の皆さんの「何か市長が代わってやってくれるんじゃないか」という期待感が感じられます。<br>審議会で重点項目を決めたら、その中のひとつを必ず達成し目に見える形にし、なおかつ市民の方の協力を得てPRして役所のやる気を示していく必要があると思ひます。<br>例えば、子育てサロンを形あるものにしていただき老人のサロンと隣り合わせにして街中を拠点とし公園と共に建設していただき、みんなの広場として街中に人の行き来を作り居場所作りの一環にできたらいいかと考えています。<br>最後に市長が、色々なところで市民の声を聞く会議を開催しているようです。市長が市民の皆さんと交流し市民の皆さんから出された意見や要望を集約したものは審議会の参考になると思ひますので、公開していただけないでしょうか？ |

| No | 1 将来都市像を見直すことについて  | 2 将来都市像の検討にかかるキーワードについて  | 3 その他（審議会の進め方や検討にあたって必要な資料等お気づきの点を記入ください）   |
|----|--|--|---|
| 12 | <p>市民アンケートの結果は、「今後は現在の状況に合わせた新たな将来都市像で市政を推進する」をあげた人が、49.1%と圧倒的に多い。</p> <p>資料によれば、平成22年度と10年後の平成32年の比較で市の人口は約2,000人、年少人口は、13.6%から12.0%に減少、老年人口は、26.4%から31.6%に増加し、少子高齢が顕著になると予想される。</p> <p>このことから、現状をふまえても、将来予想される社会現象に見合った都市像に見直すことは当然のことと思います。</p>   | <p>アンケートの結果から、市民がどのような寒河江市を望んでいるかが伺えます。高齢社会に向けて、安心して暮らせるまち、自然や景観を大切にしながら若者が定住し、活躍できるまち、医療や福祉の充実を挙げている。これまでの振興計画の中で、まちづくりや道路などのハード面はほとんどできあがってきたと思われます。今市民が求めているものは、安心して暮らせるソフト面での充実を求めているのだと思う。市政の全体のバランスを考えながらも、医療や介護、子育てや教育など、より生活に密着した部分での充実をキーワードにすべきと思う。</p>  | <p>第5次振興計画では、各節ごとに、主な施策として、具体的な目標、項目が掲載されているが、どのようなものが実行され、課題として残っているものが、どれくらいあるのか、資料として出せるものがあれば出して欲しい。</p> <p>次回審議会の前に、会議資料を出してもらって、会議までに目を通せるようにしてほしいです。</p>   |
| 13 | <p>現行の将来都市像が寒河江らしくていいと思う。現行のものから変える理由がないのではないかな。</p>   |  |   |
| 14 | <p>現在の「歴史と文化の織りなす気品ただよふ美しい都市寒河江」をあえて変える必要はないのではないかな。これまで培ったもの、景観を護り、そこに人が住みやすい環境づくりが重要である。</p>   | <p>将来都市像としては、「水と緑のまち」のように、インパクトがあり、なおかつ市民にとって分かりやすいものがない。</p>  | <p>アンケート結果について「高齢者が安心して暮らせるまち」が上位だが、高齢者層からの回答が多数である。若年層からの回答であれば、若い方が高齢まで寒河江で住み続けることを前提にしての回答と捉えられ、将来に向けて明るくと言えたと思う。</p> <p>「産業(農・商・工業)の活発なまち」への回答が少なかった。市民全体の関心の低さに対して、市として産業振興をよく考えるべき。</p> <p>「低炭素社会を実現する環境にやさしいまち」への回答が少なかった。京都議定書が制定され、社会全体がCO2削減に向かっているのに、市民への啓蒙が足りないのでは。</p> |
| 15 | <p>「見直し」で良いと思います。</p> <p>計画のもっとも重要な共有ビジョンともいえる将来都市像を、中間年で見直すのは「思い切り」が必要だと思います。</p> <p>しかし、今回の見直しは市民の声を反映させることを重視していますので、アンケート調査で約半数の人が「見直すべき」する民意に沿って「見直す」ことでよいのではないのでしょうか。</p> <p>※現在の将来都市像を掲げた経緯について教えていただくとまた違った見方ができ議論もしやすいかと思います。</p>   | <p>寒河江のイメージをわかりやすく表し、市民のみなさんの共感を得やすいものがないと思います。やすらぎや安心といった言葉を入れてもいいですが、他の都市でも利用可能で、それだけではインパクトが足りないように感じます。</p> <p>個人的にはアンケートでも上位に入っている「さくらんぼの里」をキーワードにするのがいいかと思っています。</p>   | <p>アンケート調査の結果についても少し詳しくご説明いただければと思います。</p>  |
| 16 | <p>賛成</p>  | <p>「開放的な交流のまち」</p> <p>市の内部(市民の間)ではもちろん、外部の人とも積極的に交流するイメージを打ち出してはどうかな。市の魅力を外に向かって積極的に発信し、市を訪れてもらい、楽しんでもらう。</p>  | <p>市内観光資源の一覧表。</p>  |
| 17 | <p>現行の将来都市像をふまえて、住み良い都市像を目指すべきかと思えます。</p>  | <p>子どもからお年寄りまで安心して暮らせ、若者が定住し活躍できるまちづくりを進め、歴史と文化、さくらんぼの里のアピールをし、観光客数の増加を目指すべきかと思えます。</p> <p>豊かな農産物のアピール。</p>  |   |
| 18 | <p>暮らしやすい都市を目指して見直すことには問題ありません。</p>  | <p>住み良い、愛されるまちを基本としつつ、メジャーなもののアピールが必要だと思います。</p> <p>全国で認知されているさくらんぼもそのひとつです。また、花咲かフェアなども考えられますが。</p>   |   |
| 19 | <p>将来都市像を見直すことについては、策定から5年の時間が過ぎたので、行っても良いのではないかなと思います。</p> <p>ただ、5年前と寒河江市を取り巻く環境が、現状ではそんなに変わっていないようなのでそのままでも問題はないのでしょうか。</p> <p>どの街の発展計画も、市民みんなが仲良く住め、活発な経済活動を行い、次代を担う若者を立派に育てる街づくりと思う。その為には個人個人が皆のことを考え、行動する社会を目指すべき、政治家はどの部門を強調し行政を通じ市民をまとめ、リードすることが大事なことです。なるべく分かりやすい発展計画、できれば具体的にすべきだと思います。</p> | <p>高齢化の進展や、少子化はどの町でも問題になっております。そうした中で寒河江が県内各市町村と比較して素晴らしいと私が思うことは、市内の多くの家庭の庭がきれい、道端の雑草も少なく、街がきれい。</p> <p>また、市街の方が寒河江に移り住んでも寒河江人は受け入れてくれるし、よそ者として扱わない。</p> <p>誘致企業も寒河江に溶け込んでいると思う。農業においては多様な果樹や花卉・野菜等多くの農産物を作り、観光に結び付け米だけに頼らない農業はすばらしい。</p> <p>また、他市町村と比較してお寺さんの数も多く、多くの僧侶の方がおり、檀家との結び付きもよく、市民の精神的支えとなっており、同様に寒河江八幡宮に対する市民の結びつきも歴史的文化と思える。だからお年寄りの方も住みよいし、小さな子どもたちも住みよい街になっているのではないかな。寒河江の誇れるところは堂々と自信を持って進めることも大事だと思います。</p> | <p>特段ありませんが、市民アンケートや各地区での座談会、地域ワークショップ等を広く行うのはいいのですが、問題点が多様化して事務局が纏め切れなくなったり、ワークショップの担当職員のリードにより単純化されないか心配です。</p>   |
| 20 | <p>アンケート結果にもあるとおり、新たな将来都市像を打ち出すべきだと思います。</p> <p>現行のものも本市の姿をよく表したすぐれたものだっただけに大変だと思えますが、これをしのぐすばらしい将来像を描ければと思います。</p>  | <p>事務局案に網羅されていると思います。</p> <p>敢えてあげれば、「学ぶ」・・・市民誰もが、いつでも、どこでも。</p>   |   |